

# 熊本市のインクルーシブ教育 ～多様性の包摂に向けて～

【R7文科省中央教育審議会 教育課程企画特別部会「論点整理」より】

協議 (2)  
令和8年3月26日

補足イメージ1-①

## 次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方

～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～

主体的・対話的で  
① **深い学びの実装**  
(Excellence)

主に第2,3,4,6章  
(生きて働く「確かな知識」の習得、資質・能力育成の具体化・深化、「好き」を育み「得意」を伸ばす、情報活用能力の抜本的向上、個別最適な学び・協働的な学び等)

③ **実現可能性の確保**  
(Feasibility)

主に第5,7章  
(授業時数の適正化・平準化、教科書の精選、構造化、裁量的な時間など様々な方策による教師・子供双方の「余白」の創出、カリキュラム・マネジメント等)

② **多様性の包摂**  
(Equity)

主に第3,7章  
(調整授業時数制度、裁量的な時間、個別の児童生徒に係る教育課程の仕組み、デジタル学習基盤を活用した学習環境デザイン、個別最適な学び・協働的な学び等)

学びをデザインする高度専門職としての教師    デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備  
「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白    総合的な勤務環境整備

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

# 熊本市のインクルーシブ教育 ～多様性の包摂に向けて～

## 【めざす姿】

学校の包摂性が高まり、多様な子どもたちの豊かな学びが保障されている。

注)包摂性:すべての子どもが集団の一員として認められ、個性や能力を発揮して参加・活躍できる状態。

豊かな学び:子どもたちが主体的に学び、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りする力を育む学び。

## 【推進の柱】

### ①多様なこどもの理解

- ・人権教育に関する研修
- ・特別支援教育教育に関する研修
- ・児童生徒理解に関する研修 等

### ②安心して過ごせる環境整備

- ・支持的風土のある集団づくり
- ・専門家や関係機関と連携した支援体制
- ・いじめ、不登校への対応 等

### ③ニーズに応じた学びの充実

- ・個別最適な学びの充実
- ・特別支援学級等における支援の充実
- ・日本語指導教室における学びの保障 等

### ④関わり合う活動の充実

- ・協働的な学びの充実
- ・交流及び共同学習の充実
- ・行事を通じた交流活動の充実 等

# 熊本市のインクルーシブ教育 ～多様性の包摂に向けて～

## 【R8年度の主な取組について】

	取組内容	担当課・室
モデル校	<p>○ともLinkスクール <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 1</span> <b>【新規】</b></p> <p>特別支援学校と小中学校による交流及び共同学習の研究 (あおば支援学校 城東小学校 藤園中学校)</p>	特別支援教育室
	<p>○まなBeingスクール <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 2</span> <b>【新規】</b></p> <p>各教科等において個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の研究 (幼稚園2園 小学校6校 中学校4校)</p>	教育センター 健康教育課 指導課
研究員	<p>○ 特別支援教育部会 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 3</span> <b>【R7～R8】</b></p> <p>「分かる」「できる」でこども同士がつながる授業づくりの研究 (小通常1人、小特支1人、中通常1人、中特支1人、あおば1人)</p>	特別支援教育室

# 熊本市のインクルーシブ教育 ～多様性の包摂に向けて～

## 【R8年度の主な取組について】

	取組内容	対象	担当課・室	
研修	○通常の学級における多様性を包摂する授業づくり ○合理的配慮の提供に関する研修	資料4 <b>【継続】</b> <b>【新規】</b>	全員 全員	特別支援教育室
	○安心して学びやすい校内支援体制づくり	資料4 <b>【新規】</b>	全員	総合支援課
	○インクルーシブな学級づくり（資料4）	資料5 <b>【継続】</b>	希望者	教育センター
	○多様なこどもの理解と関わり（資料5）	資料6 <b>【新規】</b>	希望校	人権教育指導室
学校訪問	○学校訪問ワーキンググループでの検討 ・「推進の柱」(資料2ページ)を学校訪問の視点に ・現状や課題の共有、改善策の検討	<b>【新規】</b>		関係課
	○授業づくり支援訪問 ・通常の学級、特別支援学級、通級指導教室の授業づくりを支援	<b>【継続】</b>	幼 2 小 31 中 14 高 1 支 1	教育センター 特別支援教育室

令和 8 年度熊本市教育センター研究モデル校・園  
「とも Link スクール」(研究領域「共に学ぶ教育」) 要項

## 1 目的

熊本市教育振興基本計画の基本理念を基に、各学校・園の教育活動の深化と発展に努めるとともに、学校と教育委員会が共に連携して研究実践に取り組み、本市教育の充実と教育水準の向上に資する。

## 2 研究期間及び方法

研究期間は原則として 1 年間とする。引き続き、次年度に実践研究を継続することもできる。各学校・園と教育委員会が連携し、研究実践を行う。

## 3 研究領域について

○共に学ぶ教育(交流及び共同学習)(担当:総合支援課 特別支援教室)

障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒が触れ合い、共に活動することで、両者にとって、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となるなどの実践を行うもの。

○学校管理職マネジメント推進事業(担当:教育センター)

各学校の校長とミドルリーダーが教育センター指定の研修を受講し、自校の課題解決に向けて実践を行う。また、教育センターの研修づくりについての共同研究を行うもの。

## 4 成果発表等

担当課(室・センター)より実践報告・交流会・アンケート協力等を依頼する。公開授業及び紀要作成等は求めない。

## 5 支援

- ・担当指導主事の支援
- ・予算(報償費、先進校視察費、講師派遣費等)の配当

令和 8 年度(2026 年度)熊本市教育センター研究モデル校・園  
「まな Being スクール」募集要項

## 1 目的

熊本市教育振興基本計画の基本理念を基に、研究モデル校・園を設け、各学校・園の教育活動の深化と発展に努めるとともに、公開授業や研究実践を通して、本市教育の充実と教育水準の向上に資する。

## 2 研究期間及び方法

研究期間は原則として 1 年間とし、各学校・園が主体となってそれぞれの教育実態に応じた実践研究を行い、教育センター(指導課・総合支援課・健康教育課)がそれを支援する。

研究の更なる充実と発展のため、令和 8 年度の研究モデル校・園が、引き続き、令和 9 年度に実践研究を継続することもできる。

## 3 研究する教科等について

各学校・園の教育実態に即して、次の教科等から選択する。( )は募集予定数。

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 国語、算数・数学、外国語・英語及び学校が希望する教科(3校)   |
| <input type="checkbox"/> 道徳教育(2校) <input type="checkbox"/> 特別活動(2校) <input type="checkbox"/> 幼児教育(2園) |
| <input type="checkbox"/> 健康教育(2校) <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間(2校)                              |

※昨年度までの領域(カリキュラム・マネジメント、ESD、キャリア教育、STEAM 教育、生徒指導、情報活用能力・コミュニケーション能力の育成等)は、上記の教科等内で研究実践を行う。

## 4 公開授業・保育及び授業・保育研究会

各学校・園の研究の内容や方向性を他校・園と共有したり、その後の更なる研究実践に生かしたりするために、年 1 回以上の公開授業・公開保育及び研究会を行う。  
※研究紀要の作成や研究発表会をする必要はない。

※県・九州大会、一斉授業研と兼ねることについては、状況を検討の上、教育委員会が決定する。

## 5 支援

- ・ステップ・アップ・サポーター等指導主事の授業づくり・校内研修支援
- ・報償費、先進校視察費、講師派遣費等の予算の支援
- ・講師等の紹介等

## 6 申込期限・方法及び決定

令和 8 年 1 月 30 日(金)までに、(別紙)希望調査に、研究領域及び内容等を記入の上、所定の 365 ポータルフォルダに提出する。  
その後、教育センターで検討の上、令和 7 年度中に決定する。

## 研究の視点と取り組みの実際 「わかる」・「できる」でつながる授業づくり



① わかりやすさ



② 安心感



③ 達成感



④ 協働

別添資料 令和8年度(2026年度)「インクルーシブ教育研修」と「特別支援教育研修」

研修①「通常の学級における多様性を包摂する授業づくり」

1



みんなで動画視聴

2



ペアやグループで  
授業リフレクション



【研修①動画】

- 次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方から  
～(論点整理)多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに～
- 多様な子どもたちの「学び取る」を支える特別支援教育の視点

話題提供 熊本市立黒髪小学校 渡上 剛道 教諭



研修②「安心して学びやすい校内支援体制づくり」

1



みんなで動画を  
視聴する

2



グループ協議  
に取り組む

3



研修①・②を  
振り返る



【研修②動画】

- 多層支援システムに基づく校内支援体制
- 安心して学びやすい集団作り・学級づくりに向けて



〈資料の掲載場所〉

e-netMicrosoft365ポータル>受取箱ト>07教育委員会事務局>  
02学校教育部>05総合支援化等別支援教育室>13インクルーシブ教育理解研

時間や時期については学  
校の実情に合わせて実施  
をお願いします

〈お問い合わせ〉  
熊本市教育センター 359-3200  
総合支援課特別支援教育室 328-2743



## (1) SD I

## ①特別支援教育研修 ～子どもの理解と支援～

No	講座名	研修内容	日時	講師	対象者
1	特別支援教育専門研修1	○特別支援学級・通級指導教室の授業づくり入門	6月17日(火) 15:00～16:30 オンライン	桃山学院大学 松久眞実 教授	幼・小・中・高・総ビジ専・特別支援学校教職員
2	通常学級における授業のユニバーサルデザイン化	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業・学級づくり	9月2日(火) 15:00～16:30 オンライン	星槎大学大学院 阿部利彦 教授	
3	なるほど、そうか！ 子どもの行動	○医学的な視点から支援を要する子どもへの関わり方	10月7日(火) 15:00～16:30 オンライン	はっとり心療クリニック 有菌祐子 副院長	
4	特別支援教育専門研修2	○インクルーシブな学級づくり	1月13日(火) 15:00～16:30 オンライン	ノートルダム清心女子大学 青山新吾 准教授	

※本研修は2、3年目研修の選択研修も兼ねる

## — 特別支援教育オンライン講座 —

## インクルーシブな学級づくり

学級づくりや授業づくりにおいて、インクルーシブ教育の視点から、  
全ての先生方に参考になる内容をお話いただけます。



講話 インクルーシブな学級づくり

講師 ノートルダム清心女子大学  
青山 新吾 准教授

対象者 幼・小・中・高・総ビジ専・特別支援学校教職員


日時 令和8年1月13日(火) 15:00～16:30

方法 Zoomによるオンライン研修  
申し込みはPlantから(SD特支④と検索)  
※臨任の先生は、【臨任用】SD特支④と検索



## 幸せな園・学校づくりのための教職員研修




「幸せな園・学校づくりのための教職員研修」について-pdf 



A 人権感覚・人権意識の振り返り-pdf 



B めざす教職員像、めざす園・学校像-pdf 



C 体罰・不適切な指導の防止-pdf 




D 人権全般-pdf 



E 人権感覚・人権意識とは？-pdf 




F 隠れたカリキュラム-pdf 



G こども基本法-pdf 



H 校則・生徒指導のあり方の見直し-pdf 



熊本市教職員の人権感覚・人権意識 振り返りシート-pdf 